

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立島根中学校

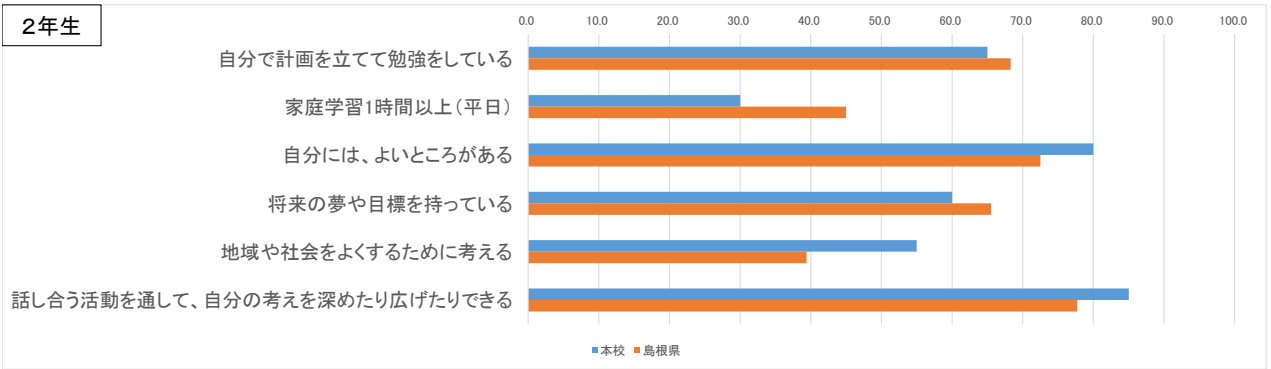
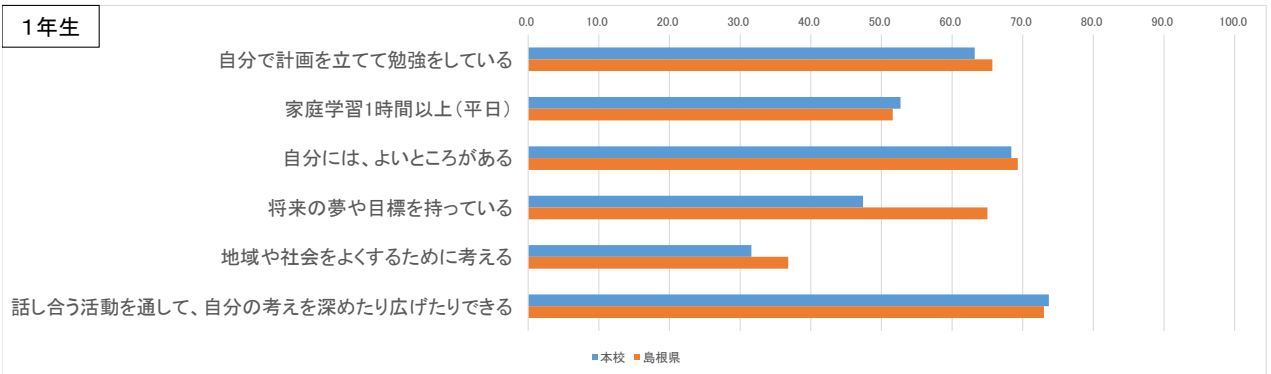
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
国語	○話合いの内容を聞き取り、内容を捉えたりまとめたりする問題の正答率が高い。 ○文学的な文章の読解の正答率も高い。 ●二つのものを比較し条件に合った文章を書く問題の正答率が低い。特に、無回答の割合が高く、県や市町村平均の1.5倍ある。 ●小学校で学習した漢字の書き取りが苦手である。「延ばす」という漢字については、平均正答率の半分程度しか正解していない。	○基礎学力テストなどで、小学校高学年の漢字を繰り返し学習したためか、小学校で学習した漢字の正答率がかなり高い。 ○文法・語句に関する問題の正答率も高い。 ●文学的な文章の読解を苦手としている。登場人物の設定でつまづいていることから、内容を捉えきれない生徒が一定数いると考えられる。 ●文章を書く問題の正答率が低い。無回答の割合は平均と比べて高くないものの、指定された文字数に達しない生徒の割合が高い。長い文章を書くことを繰り返す必要がある。
数学	○基礎基本の内容を理解している。 ●正負の数と文字式の計算でつまづいている生徒が一定数いる。また、分数を含む内容を苦手としている。 ●文章を読み、何を問われているか理解したり、文章から数量関係を見出して式に表したりすることを苦手としている。また、多くの情報から、問題を解くために必要な情報を取捨選択することを苦手としている。 ●記述式問題では自分の考えを相手に伝えるように書ききることができていない。	○基礎基本の内容を理解している生徒が多い。 ○定期テストでも考え方や説明する問題に取り組んできたので、記述式の問題に正答する生徒が出てきた。 ●文章を読み、何を問われているか理解したり、文章から数量関係を見出して式に表したりすることを苦手としている。 ●計算を処理としてとらえるだけでなく、途中式と事象の数量関係を結びつける学習に取り組む必要がある。
英語	○基本的な文構造や文法事項を理解している。 ○英文の概要や要点をとらえる力が高い。 ●対話を聞いて適切に回答する力がやや低い。 ●身の回りの人やものについて書く力が低く、大きく県平均を下回った。無回答並びに規定の文の数を下回った回答の割合が高く、書くことに苦手意識をもっている生徒が多い。話す活動を書く活動につなげたり、家庭学習で文を書くことに取り組ませたりするなど書くことに親しむ場を設けていく必要がある。	○全般的に聞く力が身に付いている。 ○英文を読み、概要や要点を読み取ることができる。 ●書く力は平均では県平均よりやや高いが、無回答やほとんど書けなかった生徒も多く、手立てを考える必要がある。 ●語順や文法事項については、理解が高いものとそうでないものの差が大きい。不定詞の形容詞的用法、there isの文型など理解率が低いものについて復習する時間をとっていく。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題） ※学校全体として

	1年生	2年生
意識	○家族との会話が長く、コミュニケーションがとれている。 ●地域を愛しているが、自分が地域のために何かしようと考えている生徒は少ない。 ●家庭学習の時間が短く、復習をしている生徒が少ない。 ●全体的に将来の夢や目標をもっている生徒が少なく、学力が低い生徒ほど夢や目標をもっていない傾向がある。キャリア教育を工夫するとともに、学力対策を考えていく必要がある。	○自分の良さに気付いている生徒が多い。 ○地域の行事に積極的に参加し、自分を役立てたいと思っている。 ●平日の家庭学習の取組時間が短い。 ●分からないことを書籍やインターネットを使って調べたりせずそのままにしたり、本や新聞を読む生徒が少なかつたりするため、活字にふれる機会を増やす必要がある。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】 1年生 19 名 2年生 20 名 (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)